

## 5) 三輪神社 (富田町4丁目)

三輪神社大己貴命(おおなむちのみこと)を祀る三輪神社。

大和国三輪山に鎮座する大神(おおみわ)神社から勧請したとされています。

大神神社は、奈良県桜井市にある神社です。式内社(名神大)、大和国一宮で中世には二十二社の中七社のひとつとされました。旧社格は官幣大社。三輪明神とも呼ばれます。

大物主大神(おおものぬしのおおかみ)を祀る。日本神話に記される創建の由緒や大和朝廷創始から存在する理由などから「日本最古の神社」と称されています。日本国内で最も古い神社のうちの1つであると考えられています。



富田の三輪神社は、もとは普門寺の鎮守社とも、富田村の産土神(うぶすながみ)ともいわれています。

寛永16年(1639)に普門寺の龍溪禅師により再興され、寛延2年(1749)に社殿が修復されたことが、神社に残る奉加帳序や棟札からうかがえます。

富田は、江戸時代の初めに酒造りが隆盛をきわめ、24軒の造り酒屋があったとい、三輪神社は酒の神様を祀る神社として人々の信仰を集めています。本殿、合の間、拝殿で構成される社殿や、灯籠、狛犬など江戸時代の建物や石造物がよく残っています。社殿・絵馬所・末社春日社は、平成17年6月14日に市の有形文化財に指定されました。

平成18～19年には、本殿の改修工事が行われ、本殿彩色復原調査が行われ、建設時の鮮やかな本殿に復原されました。

富田村の産土神となり、明治5年(1872年)、村社に列し、明治40年(1907年)1月には神饌幣帛料供進社に指定された。

明治41年(1908年)2月、天神山の天神社、西富田町の八幡神社を合祀した。

現在の本殿は寛永16年(1639年)に落成したものだという。また、拝殿や絵馬所、社務所などがある。

寛文年間(1661年-1673年)の年紀がある大鳥居をはじめ、燈籠や狛犬など、江戸時代の石像物も多く現存する。

例祭は10月15日。境内社に、春日神社・巖島神社・金比羅神社・八坂神社・稲荷神社がある。

「三輪神社社殿 附棟札2枚・奉加帳序1巻」「三輪神社絵馬所」「三輪神社末社春日社 附玉垣」が市の有形文化財に指定されている。

三輪神社では、1月の初詣でに始まり、1月10日のとんど祭り、4月春の野立て、5月の春祭り、7月の八坂祭り、8月15日百燈祭り、10月秋祭り、12月ジャンボしめ縄などいろいろな行事があります。